

第12回 KEK コンサート

深沢 亮子 ピアノリサイタル

2005年7月15日(金) 18:00 開演 研究本館レクチャーホール

| | |
|---------|---|
| モーツァルト | ピアノソナタ第15番ハ長調 K.545 |
| ベートーヴェン | ピアノソナタ第8番 ハ短調「悲愴」作品13 |
| 助川敏弥 | やさしいピアノ小曲集「ちいさな四季」より (1971) ——演奏者による詩の朗読つき—— (詩：古川千鶴子) 春 そこまで春が ・ アクロバットのマツモムシ 夏 だれかが呼んでどこからなの ・ 小さな泉 秋 秋の谷川 ・ もうすぐ冬だよ 冬 きょうはたのしいクリスマス ・ 暮れる谷川石がなる |
| 助川敏弥 | ピアノのためのソナチネ「青の詩」(1975) |
| ドビュッシー | ピアノのために：プレリュード・サラバンド・トッカータ |

[ピアノ] 深沢 亮子 (Ryoko Fukasawa)

千葉県東金市生まれ。3歳で両親からピアノの手ほどきを受ける。10才で故永井進氏に師事。15歳で日本音楽コンクール首位受賞。高校在学中の1956年、ウィーン国立音楽大学に留学、グレーテ・ヒンターホーファー教授に師事。在学中にガスタイン賞を受賞し、首席で卒業。61年、ジュネーブ国際音楽コンクールで2位受賞(1位なし)。1963年大阪府民劇場奨励賞を受賞。その後もオーストリアを始めドイツ、デンマーク、スウェーデン、ベルギー、フランス、スイス、イタリア、ハンガリー等のヨーロッパ諸都市やブラジル、韓国、台湾でも演奏し、日本の現代作品も積極的に紹介している。室内楽の分野にても意欲的な活動を行っており、特に新・旧のウィーン八重奏団、フィルハーモニア・クアルテット、ウィーン室内アンサンブル等と度々共演するなど国際的な舞台で活躍している。国内では、N響を始め大阪フィル、九響、札響、新星日響、東響、都響、東京フィル、日本フィル、ニューフィル千葉、広響、山響、読売日響の定期演奏会・特別演奏会に出演。92年には国際交流基金より音楽文化使節として派遣され、ルーマニア、チェコ、スロバキア、ブルガリアへの演奏旅行に出かけ10回の演奏会とラジオ、テレビ放送に出演し、大きな成果をあげた。国際音楽コンクールや日本音楽コンクール他の審査員をつとめるかたわら、レコード、CD、著書、楽譜の出版、後進の指導にもあたり、95年、千葉県より文化功労者として顕彰される。現在、日本音楽舞踊会議代表委員。